事務事業チェックシート

事務事業No 事業名

21775 地方道整備事業(特別需要)

長期総合計画]		
分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政 策	2	都市機能や市民生活を支える道路網の整備
施策	2	生活道路の整備
取組方針	1	道路の新設・改良の促進

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	管理経費
ず来区が(1)	その他	
事業区分(2)	自治事務	法定受託事務
事来四月(2)	その他	
	会計	一般会計
	款	土木費
会計・	項	道路橋梁費
予算区分	目	地方道整備事業費
	大事業	地方道整備事業
	中事業	地方道整備事業(特別需要)

事業種別	継続			関連個別計画			
事業年度	無し	~	無し	担当課・担当課長・Tel	都市再生課	三宅尊弘	435-1048
事業実施の根拠法令	都市計画法全般			関連課	道路政策課、道路管理課		

1	事業内容								
Γ	(「誰・何」をど	ういう状態にするための事業	カゝ)	全体事業概要					
Г	和歌山城と水辺をつなぐ水。	と緑のネットワークのシンボ	ル的な道路と ゟ	歩行者に優しV	歩きたくなる空間を目指した	道路整備を行う。(道路改良エ	.事、道路美装化工事他)		
	して更なる賑わい創出に向い	ナ、沿線施設などとの連携を	視野に入れ、						
	様々な事に利活用できる道具	各空間として整備し、和歌山	城及びその周						
1	辺の回遊性を高める。								
1	4								
事等上白	5								
1									
		令和02年度	令和03年	年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度		
					道路改良	道路改良			
					道路美装化	道路美装化			
1									
平 3 P 24	[5]								
1	<u> </u>								
				I					
				I					

事業費等	(千田)	令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度	
	- (111)	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事	業費	0	0	0	0	187, 770	60, 250	0	0	0	
伸び率	5 (%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	△100%	△100%	0%	0
	正規職員	0	0	0	0	23, 784	22, 961	22, 363	0	0	
人件費	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	0	0	0	23, 784	22, 961	22, 363	0	0	
国庫	支出金	0	0	0	0	93, 885	30, 125	0	0	0	
県支	出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市	債	0	0	0	0	84, 400	27, 100	0	0	0	
その	の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	(税等)	0	0	0	0	9, 485	3, 025	0	0	0	
所要人数	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	3. 18	3. 07	2. 99	0.00	0.00	0.0
(人)	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
主な予算内訳		請負費177,77	0千円、委託料	10,000千円							

3 目標及び実績

	指標名	単位		令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
	中橋線の整備に関する整備		目標値			31	100	
34		%	実績値			31		
活動指標			達成度(%)	%	%	100%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					
	歩行者通行量 (休日)		目標値			603	763	923
4-1		人/目	実績値			603		
成果指標			達成度(%)	%	%	100%	%	%
指			目標値					
憬			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

_ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	0	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	0	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	0	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	0	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	0	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	0	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	0	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	0	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性(担当課評価)

	D4 . 74 . 4	T (177 11 HVH)	1 11-47				
市	充実		0				
事業内容の	現状維持						
容の	縮小						
方 向 性	廃止						
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大		
		コスト投入の方向性					

	市道中橋線は、和歌山城から城前広場、京橋親水公園へとつながる道路として、和歌山城及びその周辺の回遊性を高めるため、「歩行者にやさしい歩きたくなる空間」の創出を目指し、城前広場と一体的に整備を行っている。
担当課評価の根拠	の、「多行者にくさしい多さにくなる空間」の創出を目指し、城間広場と、本間に登幅を行うしいる。 令和5年度にはハード整備が完了し、城前広場から京橋親水公園を始めとする中心市街地への回遊動線として活用されることになるが、今後、沿線施設との連携やイベントなど、様々な利活用を行い、周辺の回遊性の向上に努める必要がある。
見直し・改善内容	今後は、沿線施設や、まちづくり団体との連携を積極的に進める事により、和歌山城と水辺をつなぐシンボル的な道路としてさらなる賑わいの創出にむけ、様々な事に利活用できる道路空間としての在り方を検討し、和歌山城及びその周辺の回遊性を高める必要がある。